

ノ實際家ニ就イテ本員ガ伺ヒマシタ所ニ依リマス、少シク此御答ヘト相違シタル所ノ事實ヲ發見イタシマシタ、付キマシテハソレニ付イテ少シク冗長ニ涉リマスカモ知レマセヌケレドモ、一應事實及計數ヲ擧ゲテ御尋ネ旁、私トシテソレニ付イテノ意見ヲ述ベテ見タイト思ヒマス、暫ク御清聴ヲ願ヒタウゴザイマス、ソレレ此法案トシテハ私ハ無論何等一點ノ異存ノアル者デハナイノデゴザイマスガ、此法案ノ根本ノ目的ハ詰リ樺太ニ於ケル所ノ殖産興業ヲ御獎勵ニナル御目的デアル、其御目的ガ此法案ヲ出シタ爲ニ果シテ實行サレルカ否ヤト云フコトヲ氣遣ッテ、先達テモ御問ヒ申上ケタ譯デアリマス、トコロガ若シ此法案ガ出來マシテ、出來タ物ガ内地ヲ捌ケナイト折角好イ御名案モ徒勞ニ歸スルト云フコトヲ慮レルノデ、生産費ト云フ問題ニ付イテ特ニ重キヲ置イテ調べタウナ譯デアリマス、ソレレ先ダ糖蜜カラ出來マス所ノ「アルコール」ト馬鈴薯カラ出來ル「アルコール」ト品質ニ於テ政府委員ハドウモデアレハ臭ヒガアッテ飲料トシテ使フノハ餘リ感心シナイト云フコトヲゴザイマシタ、私モ段々調べ見マシタ所ガ、成ルホド極少量デハゴザイマスガ「フリーゼル」油ノヤウナモノガアリマス爲ニ、非常ニ臭ヒガアルト云フコトヲ發見シマシタ、併ナガラ其「フリーゼル」油ナルモノモ極メテ少量デアッテ、是ハ實際此間御話ニナリマシタ通り無闇ニ鼻ニツクトカ味ノ點ニ於テモ異ナルトカ、實際取扱ッテ居リマス者、製造業者ハ無論、販賣業者ト雖モ是ハソレナコトハ決シテナイソレハ實際或ル「パーセンテージ」ニシテハ少シクアルコトハアルケレドモ、ソレハ素人ガ見テモドウモ分カルモノデモナシ、實際家モ酒ト混ゼテ見タ所ガ差支ナイ、謂ハル糖蜜ト稱シテ甘イ味ノヤウナモノガアッテ、精密ニ云ハバソレガアルカモ知レナイガ、普通「アルコール」トシテ馬鈴薯カラ出來ルモノト糖蜜カラ出來ルモノト強ヒテ區別シテ市場ニ用非テ居ラヌト云フ所カラシテ、是ハドウモ決シテ之ヲ以テドウ斯ウ議論ノ差點トスルコトハ出來ナイグラウト云フ話ヲ得マシタ、ソレデサウデアルトシマスルト、先ツ品質ト云フモノニ付イテハ、兩方同ジト私ドモハ素人デゴザイマスガ、見タイト思ッテ居リマス、ソレレ餘談ニ涉リマスケレドモ、實際本當ノ純粹ノ良イ「アルコール」ト云フモノハ、ホンノ藥局方ノ指令ノ下ニ使フモノニ限ッテアッテ、殆ド飲料ナドニ使フ「アルコール」ハ、此糖蜜ト馬鈴薯カラ出來ルモノトノ間ニ現在差ヲ見テ居ルト云フコトハ無イサウデアリマスカラ、サウスルト兩方ノモノヲ同一ニ私ハ取扱ッテ差支ナイト考ヘマス、其次ニ内地ニ於ケル酒精ノ査定石數ガ四十二年以來四十二年マテ段々増シテ來タト云フコトヲ表ヲ以テ御答ヘニナリマシタ、ソレニ付イテドウモ政府委員ノ御考ヘテハ臺灣ニ廉價原料ガアルニ拘ラズ内地テ増シテ居ル所ヲ見レバ臺灣ノ糖蜜カラ出來ル所ノ酒精ト云フモノハ餘リ内地ニ於テ蔓テ居リハナイカト云フ御結論ノヤウデアリマスガ、是ハ私ハ確ト斷言ヲ致シマセヌガ、私ノチヨット調べテ見タ所ニ依リマス、却ッテ糖蜜カラ出來ル所ノ酒精ガ内地ニ於テ益々用非ラレル既往ノ現象ヲ此表ニ明瞭ニ言ヒ現ハサレテ居ル、詰リ私ハ政府委員ト反對ノ結論ヲシタイト思ヒマス、ト云フノハ此表ニゴザイマス酒精ノ査定石數ハ四十二年ト四十二年ト比較シテ見マスト約二千石タケ違ッテ居ル、御承知ノ通り此酒精ト云フモノハ、サウソウノ年ニ依ッテ需要ノ上ニ大差ノアルモノデハナイト云フコトハ私ノ調べテモ明カデアリマス、ソレハ現ニ四十二年度ニ入ッテ二千石殖産マシテ、四十四年度ニ至ッテモ、ソレガ前年度ノ計數ヲ維持シテ居ルモノト見レバ、ソレハ特殊ノ理由ガ無ケレバナラヌ、特殊ノ理由ト云フモノハ何デ

アルカト云ヒマス、私ノ考ヘマシタ所ニ依リマス、是ハドウシテモ臺灣ノ製糖事業ノ勃興ト云フコトガ原因シテ居ル、ソレヲ調べ見タ所ガ、二十八年二十九年度即チ臺灣ニ於キマス所ノ新式製糖業者ガ漸ク營利時代ニ這入りマシタ時カラ此四十二年ニ至リマスマテ、丁度、含蜜糖、分蜜糖、兩方合セマシテ一億斤ハカリ差出サレテ居リマス、此時代ニモ無論副産物トシテ糖蜜ハ産出セラレテ居リマスガ、糖蜜ノ産額ハ其後ノ年ニ比ベマスト割合ニ少ナカッタガ故ニ、其大部分ハ對岸ニ輸出サレテ又臺灣島内ニ於テ支那酒トカ臺灣酒トカ造ッテ、ソレレ大凡消費シ盡サレタモノデアラウト思ヒマス、然ルニ四十二年ニナリマス、前年ノ製糖能力ガ一千二百噸デアリマシタモノガ急ニ九千八百八十噸ニ増加シ、製糖額ガ二億一千万斤トナッテ居リマス、丁度前二年ノ平均ニ比ベマスト約二倍ノ増加ニナッテ居リマスガ故ニ、糖蜜ノ産額モ非常ニ増加シタコト、思ハレマス、其増加シタ糖蜜ハ詰リ吐ケ途ガ無イ、内地ニ廉價叩キ賣リニシテ持ッテ來タ、モウソノ證據ハ橋本久次郎ナドガ持ッテ居リマス小名木川ノ酒精工場ナド既ニ製糖會社ノ方ニ材料ヲ變ヘタヤウニ聞及シテ居リマス、詰リ今マテハ内地ノ材料アヤッテ居ツタガ、糖蜜ガ廉價カラシテ同ジ價格ト同ジ品質ヲ得ルモノデアラカラシテ、廉價物デヤツタラ宜カラウト云フコトア、臺灣カラドンノ糖蜜ヲ取寄セタヤウナ形勢ガアリマス、先ヅ是ハ細カキニ涉リマスケレドモ、現在餘リ畑ノ中ニ作ッテ……其原料ニ馬鈴薯ヲ持ッテ行ツタリ、又其他ノ農産物ヲ集メテ酒精ヲ搾ヘタモノハ今デハ悉ク糖蜜ニアレガ變ッテ居ルト云フコトヲ見レバ、ドウシテモ糖蜜ト云フモノハ内地ニ於テ段々蔓テ來タ爲ニ、此四十二年ニ於キマス査定石數ハ俄然二千石ヲ増シテ來タト云フコトヲ見マシタ、ソレサウ云フ風ナ譯デアリマスカラ、ドウモ政府委員ノ御觀察ト私ノ同ジク表ニ對シマスル所ノ觀察ト反對ノ結果ヲ生ズルヤウナ譯ア、私ハ遺憾ナガラ政府委員ノ仰シヤツタコトハ、御同意ガ出來ナイト云フコトニナリマス、ソレレサウシマス既ニ品質ト度數其他「アルコール」其他ニ付イテ馬鈴薯ト糖蜜ノ間ニ差ガ無イト云フコトガ假ニ承認サル、ト見タナラバ、次ハ生産費ノ問題ニ係ッテ來ルグラウト思フ、先達テモ申上ゲマシタ通りニ、若シ之ヲ委シク見テ見マスルナラバ、樺太ノモノト臺灣ノモノト製造費ニ於テハ殆ド相似テ居リ、之ヲ假ニ同一トシテ見テモ宜シイ、詰リ問題ハ原料費ガドウデアラカト云フコトヲ見ナケレバナラヌ、即チ原料費ノ價格ニモウ一步立入ッテ見レバ、歩止マリノ如何ト云フコトニ歸スル、歩止マリハ此表ニ依ッテ拜見シテ見マスルト云フト、馬鈴薯ノ「ポイント」零ニ對シテ糖蜜ハ「ポイント」零ハ八ナッテ居リマス、約四倍モ糖蜜ノ方ガ馬鈴薯ヨリモ有利デアルト云フコトニナル、更ニ原料ノ單價ヲ見マスルト糖蜜ノ方ハ百斤ニ付イテ八十錢デアラカラ高イヤウデアリマスガ、是ハ無論、政府委員モ御承知ノ通り此方ノ原料ノ單價ニ付イテハ大體有利ナ其地位ニアルト云フコトハ申上ゲルマデモナイ、既ニ來年再來年ニハ露國ヨリ這入ッテ來ル砂糖ガアル、ソレニ對シテ糖蜜ガ有り餘ッテ居ル……若シ糖蜜ガ極メテ有利ナル發明ガ出來ザル以上ハ是ハ持餘スヨリ外仕方ガナイ、ドンノ叩キ賣リガ出來ルダラウト思フ、併シ生産費ノ上ニ於キマシテ殊ニ原料ト云フ點ニ於キマシテ考ヘテ見マシテモ、遺憾ナガラ樺太ハ臺灣ノ如クテナイト云フコトニナル、若シ是ダケノ事實ヲ御承認クダサルナラバ私ハ是ハ誠ニ法案トシテ結構ナモノデアリマスケレドモ、實際此法案ガ出來マシタ曉ニ至ッテ決シテ樺太ノ酒類ト云フモノハ、サウ多量ニ又有利ニ樺太ノ港ヲ去ッ

テ内地ニ向フト云フコトハ出来ナカラウト云フコトヲ考ヘル、ソレテ此表ニモゴザイマス通
リ、今丁度生産費ノ上ニ二圓五十錢ノ差額ガアル、此二圓五十錢ノ差額ト云フモノ
ハ既ニ非常ナ樺太ノ官民ノ努力ニ依テ生産費マデモ喰込シテ、ドンク、低減サレル場
合ガアルカモ知レヌ、先ツ原則トシテハ二圓五十錢ノ開キテハ競争ガ出来ナイト思フ、現
ニ朝鮮カラ内地ニ向ケル米ニ對シテ二圓五十錢ノ開キテ居ル、ソレガ爲ニ日本
ノ米價ニ大ナル問題ヲ起シテ居ル、此二圓五十錢ノ開キト云フモノハ、ナカク、容易ナ
モノデナイ、段々此内地ノ生産費ノ内譯ヲ考ヘテ見テモ、殊ニ内地ニ於テ既ニ臺灣ノ材
料ヲ持テ來テ居ルト云フコトデ、北海道ノ酒精會社デモ殆ド維持ガ出来ヌト云フコトハ、
衆議院ノ速記録ニ於テ拜見シタヤウナ次第デアリマスカラ、ドウモ甚ダ御希望ハ結構デ
アリマスケレドモ、實際是ガ施行サレマシタ曉ニ於テハ、ドウモ御計畫通りノコトガ出来ナ
カラウカト甚ダ御氣ノ毒ニ思フ次第アル、勿論斯ウ云フコトハ餘リ理窟ニ偏シテ申上ゲ
ルコトデアリマスカラシテ、ドウモ決シテ必ズサウデアルト云フコトヲ私ハ申上ゲルノデハナイ、
ドウモ經濟上ノ事情ト云フモノハ、二ト一トヲ寄セテ四ニナル場合ノミデハナクシテ、是ガ
二ニナッテ見タリ、四ニナッテ見タリ、五ニナッテ見タリ、六ニナッテ見タリシテ、到底測リ知ラ
レヌモノデアアルカラシテ、私ハ必ズサウデアルト云フコトヲ斷言ハ出来マセヌケレドモ、此法案
ハ當院ニ於テ御協賛ヲ申上ゲル前ニ於テ、政府當局者ノ御方ニ對シテ一應是等ノ事
情ニ付イテ篤ト御考ヘテ願ヒタイト云フコトヲ唯今一言希望イタシタイ次第デアリマス、
尙ホモウ一ツ申上ゲテ置キマスルガ、此内地ニ於テ酒造稅法ガ發布ニナリマシタ當時ノ
事情ト今日ノ事情トハ、餘ホド事情ヲ異ニシテ居リマスカラシテ、アノ當時ニ於テ樺太ノ
ヤウナ事情ヲ有スル所ノコトガ内地ニ存在スルカト云フコトハ、立法者ハ考ヘテ居ラナカ
タ、ソレデアアルカラ酒造稅ヲ課スルト云フ點ニ於テハ、他日大藏省ト拓殖局ノ方ノ御方
ト御交渉ヲナサル餘地ガアリハシナイカト思フ、詰リ酒造稅ニ對シテ、モウ少シ寛大ナル
方法ヲ採テ貫ヒタイト云フコトデ……大藏當局ニ對シテ御相談ナサル餘地ガアリハセヌ
カト思フ、之ヲ一言附加ヘテ置キマス、ドウゾ左様御承知ヲ願ヒマス

○政府委員(宮尾舜治君) 唯今、東郷男爵ノ御説ヲ拜聽イタシマシテ、大體ニ於テ御
尤モナ御説ト思ヒマス、唯私ガ申上ゲマシタコトニ對シテ一言申上ゲマス、勿論此臺灣ノ
糖蜜ヲ私ガクサスト云フ考ヘテ申シタコトデアリマセヌガ、或ハ此臺灣ノ糖蜜ハ將來ニ
於テハ大運命ヲ有シテ居ラウト云フコトハ私モ考ヘテ居リマスガ、併ナカラ現在ノ所
ニ於キマシテ其臭ヒノアルト云フ點ヲ申上ゲマシタノハ、是ハ人ニ依テ多少程度ノ考ヘ
ガ違ヒマセウガ、サウヒドイト云フコトヲ申シタ譯デアリマセヌガ、大體先ツ此普通ノ人
ノ唱フル所ニ依リマスルト臭ヒカスルト云フヤウナ點モアル、ソレカラ糖蜜ノ四十二年度ノ
ハ是ハ増額ト云フ言葉ヲ或ハ使ツタカモ知レマセヌガ、減ツテ居リマセヌト云フコトヲ申上
ゲタカト思ヒマス、即チ四十二年ニ於テハ一万九千九百五十八石、四十二年ニ於テハ一
万四千四百四十七石、四十四年ニ於テハ一万四千八百十八石、ト云フ譯デアリマシテ四
十二年ニ較ベレバ無論二千有餘石ノ増加ニナリマスルガ、是等ハ先ツ大體ニ於テサウ
減ツテ居ラウト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、唯今臺灣ノ方カラ内地ニ糖蜜ヲ送ツタ表
ヲ持テ居リマセヌカラ、明カニ私ハ御答ヘ申上ゲ兼ネマスガ、私ガ宙ニ記憶シテ居リマス所
ニ據リマス、今日ノ現狀ニ於キマシテハ臺灣ノ糖蜜ハ矢張り糖蜜稅ガ課カルカラシテ、ナ

カク、是ハ輕カラヌ稅デアルガ、ソレト糖蜜トシテ運搬即チ容器ト云フモノ、不便カラ餘
リコッチニ澤山ハ參ッテ居ラウト云フ考ヘテ居リマス、モウ一ツハズト從前參リマシタ糖蜜
ハ分蜜機ノ設備ノ無イ時代ノ糖蜜ハ比較的濃ウゴザイマシタガ、段々糖蜜ガ進歩シテ參
リマシテ壓搾機ノ如キハ「ローラ」ヲ五本モ六本モ据付ケ、其搾リ滓マデモ蒸氣ヲ通シテ
搾ルト云フヤウナコトニナッテ居リマス、又分蜜機ノ設備其他ノ設備モ段々盛ニナリマシ
テ、其爲ニ以前ヨリハ幾分か薄クナッタヤウニ思ハレルノデゴザイマス、ソレ等ノ點カラ致シ
マシテ或ハ非常ニ以前ニ參ッタ物ヨリハ薄クナッテ居リハセヌカト思ヒマス、勿論唯今分
析表ナドヲ持ッテ居ルノデアリマセヌ、唯私ガ宙ニ覺エテ居ル所ヲ申シマス、サウ譯デア
ルヤウニ思ヒマス、而シテ臺灣ニ於キマシテハ現在ニ非常ニ餘テ居リマス、餘ッテ居リマシ
テ各會社等ニ於キマシテモ糖蜜ノ處分ニ付イテハ最モ注意ヲ致シテ居リマスガ、現在ノ
所ニ於キマシテハ此兩三年來「アルコール」ナドノ製造ガ非常ニ大發展ヲシタ譯デアアリ
マセヌ、是モ私ノ記憶スル所ニ據リマスレバ、臺灣製糖、或ハ臺南ノ高島ナドニ於テ製
造ヲ致シテ居ルヤウデアゴザイマスガ、併シ是ハ將來ニ於テハ勿論大發展ノ運命ヲ持ツベキ
モノト思フノデアゴザイマス、ソレカラ樺太ノ酒精ト臺灣ノ酒精ト比較シテ見マスレバ、一
方ハ大キナモノデアッテ一方ハ甚ダ小サナモノデアゴザイマシテ、或ル言葉ヲ以テ申セバ誠ニ
御恥カシイ状態ト申シテ宜シイノデアゴザイマスガ、併シ小サクアリマシテモ樺太ト云フ所ハ
私ドモノ信ジマスル所デアハ將來追々村モ開拓シテ行カケレバナラヌノデアゴザイマスカラ、成
ルベク苦痛トナルベキコトハ除イテ置キタイト思フノデアゴザイマス、ソレ故ニ念ノ爲ニ臺灣
ノ計數マデモ擧ゲテ申シタ次第デアリマスガ、成ルベク今禁ヒラレテ居ル制度ヲ寬ニシタイ
ト云フ精神ニ外ナラヌノデアゴザイマス、ソレカラ大藏省トノ協議ノコトニ付キマシテモ御話
ガゴザイマシタ、御忠告ノ段ハ感謝イタスノデアゴザイマスガ、是モ實ハ色々協議ヲ重ネマシ
タ結果ガ斯ウ云フ法案ニナリマシタノデ、將來ノ運命、樺太ノ酒精ガ將來大ニ運命ヲ
持ツベキ見込ガ立チマスレバ、其際ニハ内地ノ制度ヲアチラニ施行イタシマシテ、出來得
ベキ機會ニ於テハ出港稅ノ如キモノハ廢メルヤウニシタイト云フ考ヘテゴザイマス、即チ是
モ大藏省當局者トモ内譯ヲ調ヘテ居ル次第デアゴザイマス、先ツ大體申上ゲタ通りノ次
第デアゴザイマスカラ左様御承知ヲ願ヒマス

○石井省一郎君 唯今、東郷男爵ヨリ述ベラレマシタ所ノ御趣意ハ至極私モ御同感
デアゴザイマス、到底樺太ニ於テ馬鈴薯其他ノ物カラ酒類ヲ製造シテ之ヲ他ニ輸出スルト
云フ迄ニハマダ餘ホド間ガアルデアラウト想像イタシマス、ソレテ此法案ガ出マシテモ、此
輸出スル所ノ輸其港稅ノ法ガ出マシテモ容易ニ活用スルコトハ私ドモハ如何ト思ヒマ
ス、併ナカラ是ガ設ケテ置カレマシテ幸ニ輸出ヲスル場合ニ至リ……謂ハユル殖産獎
勵上ノ結果トシテ斯ウ云フ法律ヲ活用スルコトニナリマスレバ、ソレハ至極結構ナコトト
思ヒマスカラ、先ツ此案ハ此儘ニ可決アラムコトヲ望ミマス

○委員長(伯耆寺島誠一郎君) 唯今、東郷男爵カラ立派ナ御意見ガ顯ハレマシテ
篤ト拜聽イタシマシタ、又政府委員カラモソレニ對スル政府ノ見ル所ノ所見ヲ述ベラレマ
シテ、續イテ石井君カラソレ等ノ意見ヲ參酌シタ後ニ斯ノ如クシタラ宜カラウト云フコト
ヲ述ベラレマシタノデアリマス、サウ云フ御意見ガ出タト致シマスレバ、此案ヲ採決ニ付シ
マス……尙ホ政府委員ガ一應説明ヲセラレタイト云フコトデアゴザイマス

○政府委員(宮尾舜治君) 私が東郷男爵ノ御説ニ對シテ申述ベマシタ中ニ臺灣カラ糖蜜ガサウ澤山ニ來ナイト云フコトヲ申シマシタガ、其程度ハ決シテ非常ニ來ナイト云フ譯デハゴザイマセヌ、現ニズット前カラ比較シテ見マスレバ年々多少優勢ニナリ來ッテ居ルノデゴザイマセヌガ、唯糖蜜ト云フモノニ稅ガ課カリマスル爲ニ優勢ナル勢力ヲ以テ内地ヲ襲撃シテ居ラヌト云フダケノ意味デゴザイマセヌ、現狀カラ申セバ年々幾分カ發達シテ居ルコトハ認メテ居ル次第デゴザイマセヌカラ、一應是ダケノコトヲ申上ケテ置キマス

○男爵東郷安君 私モ唯今ノ意見ニ尙ホ附加ヘテ申述ベテ置キタイコトガゴザイマセヌ、唯今政府委員ノ御辯明ヲ拜聽イタシマシタ、無論私カラ申スマテモナク糖蜜ト云フモノガ何故ニ内地ニ颯到シテ來ナイカト云フニ、ソレハ主トシテ稅ヲ課ケル關係ニ基クト云フコトハ明カナル譯デアリマスガ、其他ニ尙ホ内地ニ於ケル酒精ノ需要ガ餘リ多額ニ上ホラヌ、即チ非常ナ率ヲ以テ累進シテ行カナイ爲ト云フコトハ明カナコトデアリマシテ、是ハ私ガ申スマテモナク内地ヘ這入ッテ來ル來ナイト云フ問題ハ、チヨット唯今ノ問題ニ直接ノ關係ハ無イダラウト思ヒマス、チヨット其事ダケ申シテ置キマス、ソレカラ尙ホ加ヘテ申述ベマスガ、私ハ本案其モノニ付イテ非難ヲスル譯デハナク、唯種々内地ニ於ケル「アルコー」市場ノ現象カラ考ヘマシテ先キホド申シマシタヤウナ事實ニ或ハナリハシナイカト云フコトヲ申シマシタノデゴザイマセヌ、唯今御説明ヲ承リマシタ所デハ……ドウツ御誤解ノ無イヤウニ私カラ特ニ御願ヒテ致シマス

○子爵鍋島直彬君 唯今、東郷君ノ御意見ヲ委シク承リマシタ、又石井君ヨリモ御話ガゴザイマシタガ、唯今ノ東郷君ノ御意見ハ簡單ニ之ヲ約シテ申セバ、此案ニ決シテ御不贊成デハナク、實際此希望ヲ達シ目的ヲ達スルコトハ或ハ出來ヌデアラウト云フヤウナ概略ノ御趣意ノヤウニ承リマシタガ、左様デゴザイマセヌカ

○男爵東郷安君 左様デゴザイマセヌ

○子爵鍋島直彬君 サウシマス、東郷君モ此案ヲ不贊成ト云フノデハナイノデゴザイマセヌカ

○男爵東郷安君 無論、私ハ之ヲ産業獎勵上、立派ナ法案ト存ジマシテ案其モノニハ非常ニ贊成ヲ致シテ居リマス次第デゴザイマセヌカラ左様ニ御承知ヲ願ヒマス

○委員長(伯爵寺島誠一郎君) 唯今、石井君ノ御發言ニナリマシタ此樺太酒類出港稅法案ヲ可決シヤウト云フ御意見、此御意見通りニ致シマシテ御異存ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵寺島誠一郎君) ソレデハ樺太酒類出港稅法案ハ此儘ニ確定イタシマス、次ニ此法案ノ結果トシテ工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戻稅法中改正法律案ト云フ案ガ提出ニナッテ居リマス、竝ニ明治二十四年法律第十號中改正法律案、此一案ハ共ニ束ネテ問題ト致シマス、此兩法律案トモ、政府提出、衆議院送付ノ儘ニ可決イタシテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵寺島誠一郎君) ソレデハ、是モ確定イタシマス、是デ閉會ヲ致シマス
午前十一時二十二分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵寺島誠一郎君
委員 子爵鍋島 直彬君

男爵尾崎 三良君
石井省一郎君

政府委員 拓殖局部長 宮尾 舜治君

樺太廳事務官 竹内友二郎君

子爵京極 高德君
男爵村上 敬次郎君
西川 甚五郎君

子爵前田 利定君
男爵東郷 安君